

土門拳記念館

# 学芸員ギャラリートーク

## 再検証！「ヒロシマ」における土門拳のまなざし

今年4月から始まった土門拳記念館学芸員による月1ギャラリートーク！  
9月・10月の開催日をお知らせいたします！

《日時》

2022年

①9月24日（土） | 14:00～

②10月8日（土） | 14:00～

《定員》

各日先着15名（要予約）

《参加費》

無料（入館料のみ必要）

《申込方法》

土門拳記念館へ電話申込（0234-31-0028）  
または、下記メールアドレスへ参加希望の旨  
と名前・住所・電話番号を明記の上、送信



担当学芸員  
田中耕太郎

のお気に入り仏像・室生寺十二神将末神

土門拳の写真集の中でも最も凄絶な1冊、『ヒロシマ』。私たちはそこに収められた人々の表情や傷痕に圧倒され、ともすれば言葉を失いがちです。戦争や原爆が恐ろしいものであり、平和が尊いものであることは言うまでもないですが、では土門はそのことをどのような方法によって表現しようとしたのでしょうか？江成常夫さんの作品とも比較しつつ、いま一度『ヒロシマ』という写真集を紐解き、みなさんと一緒に見つめてみたいと思います。ぜひお気軽に参加ください。

《Profile》

東京生まれ。慶応義塾大学 美学美術史学専攻卒業。  
都内で音楽・古美術・現代美術・執筆業・チラシ配りなどの仕事に携わったのち、2021年より現職。仕事以外の時間は、作曲・粘土人形の制作・アフリカ系植物の栽培などに没頭。学生時代には、戦争期の日本における油画の歴史や戦没画家について研究。以来、戦争と芸術の関わりについて関心を抱き続けている。

お問い合わせ  
・  
お申込み

土門拳記念館

山形県酒田市飯森山2-13

☎0234-31-0028

✉info@domonken-kinenkan.jp